

誇れる日本を 次世代に。

堺の現場で聞いた声を、
国会での質疑につなげる。

国会での議論で、日本を成長と
国民の暮らしの向上を実現する。



黒田 まさき

衆議院議員 / 大阪16区 (堺市堺区・北区・東区)



国会での活動

本会議・内閣委員会・総務委員会・
災害対策特別委員会などで

登壇回数

32

回

※2026年6月30日時点

役職

副幹事長

国会対策副委員長

政務調査会副会長

デジタル・AI調査会長

内閣部会長

学生局副局長

黒田の質疑により実現

40年以上動かなかった
地方財政計画を変えた！

全国
+6,000 億円

堺市
+89 億円

地方交付税の増額により、
全国・堺市の老朽化対策等を加速！

維新が掲げた公約を実現

学校給食費・高校授業料が
実質無償化に！



2026年4月から全国で開始！子育て世帯
の負担を軽減し、安心して学べる環境へ

連立与党として強力に推進

防災庁設置法が成立しました！



災害対応の司令塔として、
命と暮らしを守る体制を強化！

地域の声を国会へ



現場の声を国政に。未来への責任を果たします。



日本維新の会

黒田まさき

発行者 衆議院議員 黒田まさき事務所
〒599-8113
大阪府堺市東区日置荘田中町 208-3
TEL.072-286-4448



公式ホームページ



公式X(旧Twitter)



内閣委員会での質疑で、これからの日本の課題を追及しました。

衆議院
内閣委員会

皆さまの暮らしと日本の未来を守るために、6つのテーマで質問・提言を行いました。

1 国家情報会議 日本の情報力を強化



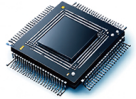
日本は長年、各省庁に情報が分散し、迅速な判断が難しい状況が続いてきました。

内閣委員会では国家情報会議の実効性を高めるために議論を深めました。各省庁からの情報集約、官邸への迅速な伝達、プライバシー保護と国民による監督のあり方について質疑し、日本の安全保障と民主的統制の両立を求めました。



正確な情報で国を守り、国民の安心につなげます。

2 経済安全保障 日本の産業を守る



世界情勢の変化により、半導体や重要鉱物などの安定確保は国家課題となっています。

経済安全保障推進法改正案の審議で、半導体・重要鉱物・光海底ケーブル・人工衛星など重要インフラの安定供給を強化する必要性を訴えました。また、特定国への依存を減らし、日本企業が安心して事業を継続できる体制構築を提案しました。



重要インフラの安定確保で、日本の産業と暮らしを守ります。

3 特殊詐欺対策 犯罪資金を断つ



闇バイトや匿名・流動型犯罪グループ(トリクチュウ)による特殊詐欺や強盗事件が社会問題となっています。

犯罪収益移転防止法改正案の審議で、不正口座売買や送金バイトへの対策強化、犯罪収益の流れを断つ仕組み、被害回復制度の実効性向上について質疑しました。

犯罪組織の末端だけでなく中核の摘発につながる対策強化を求めました。



犯罪の芽を摘み、国民の財産と安心安全な社会を守ります。

4 宇宙産業強化 宇宙で暮らしを支え、未来へ

人工衛星は、私たちの暮らしの中でとても大切な役割を果たしています。天気予報や災害の早期発見、カーナビやスマホの位置情報、通信など、さまざまな場面で使われています。

国力を支える重要な戦略分野である宇宙産業の発展により、豊かな暮らしと世界に誇れる日本を築きます。



宇宙の力を暮らしに活かし、日本の未来を切り拓きます。

5 スタートアップ育成 技術を成長につなげる

日本には優れた研究成果がありますが、事業化や世界で活躍できていない現状があります。

国のルールを見直す中で、世界に挑戦する新たな企業を育てる視点づくりや、大学の研究から生まれた成果や会社への支援、資金を集めやすくする仕組みづくりなどを求めました。

新たな研究やアイデアが次の産業を生み、日本の成長と暮らしの向上に繋がっていきます。



研究から商品づくり、世界展開までを支え、日本から生まれる新しい挑戦を加速します。

6 資源循環・都市鉱山 国内資源を活かす

日本には使用済み家電などに眠る貴重な資源「都市鉱山」があります。

内閣委員会では、ナフサ供給問題や小型家電リサイクル、レアメタル回収について質疑しました。障害者就労支援施設との連携によるリサイクル推進や、資源の国内循環による経済安全保障強化を提言しました。



資源の国内循環を進め、経済安保と持続可能な社会の実現を目指します。

国民の命を守る。
日本の産業を守る。
次世代の成長をつくる。

その他に、警察のAI活用や、地震防災対策特別措置法など、内閣委員会や災害対策特別委員会において、国民の安全・安心と日本の未来を切り拓く政策を前に進めています。

